

相模大野駅周辺まちづくりワークショップ

みんなで考えよう！
オーノまちづくりワークショップ

第2回配布資料

04_相模大野まちづくりデータ集

令和4年3月作成

目次

相模大野駅周辺地区の現状

1 . 相模大野周辺地区の人口、産業に関する動向	3
2 . 土地・建物に関する動向	7
3 . POIの分布状況	9
4 . 歩行者交通量調査	10
5 . 相模大野駅の乗降客数	13
6 . 相模大野駅周辺のバリアフリーの状況	14

地域住民の意向

1 . 大野南地区まちづくり会議の報告	15
2 . 市民等へのアンケート	16

相模大野駅周辺の公共的空間

1 . 既存の公共的空間	19
2 . 将来的に活用できる公共的空間	25
3 . 相模大野駅周辺におけるネットワーク形成のイメージ	26

相模大野駅周辺の商店街

1 . 4つの商店街と商店会	27
2 . 4つの商店会の概要（令和2年度）	28

市民・大学等との連携

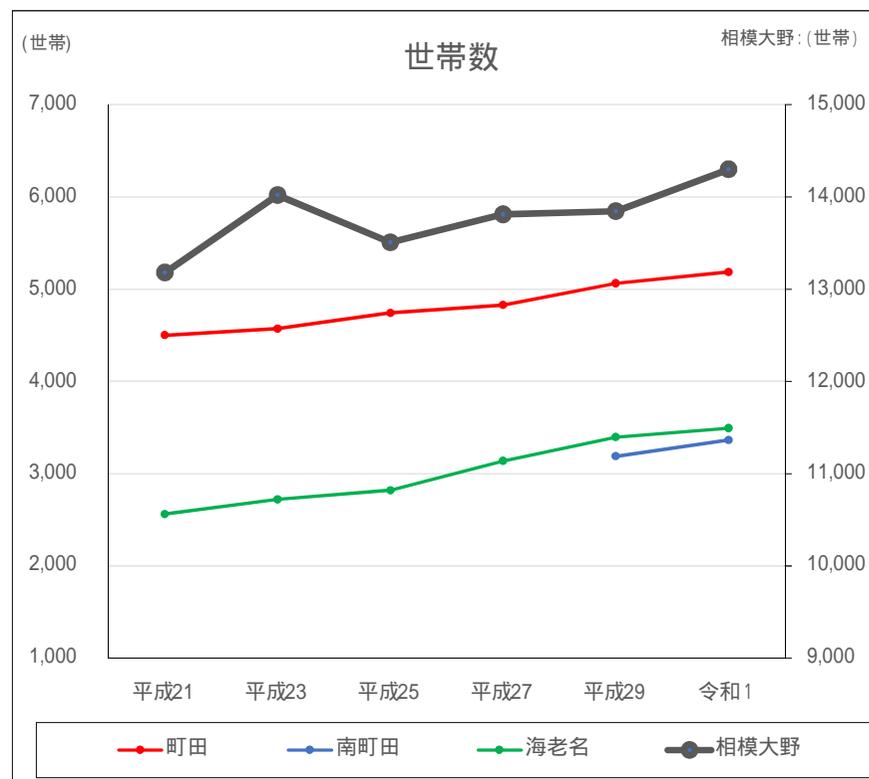
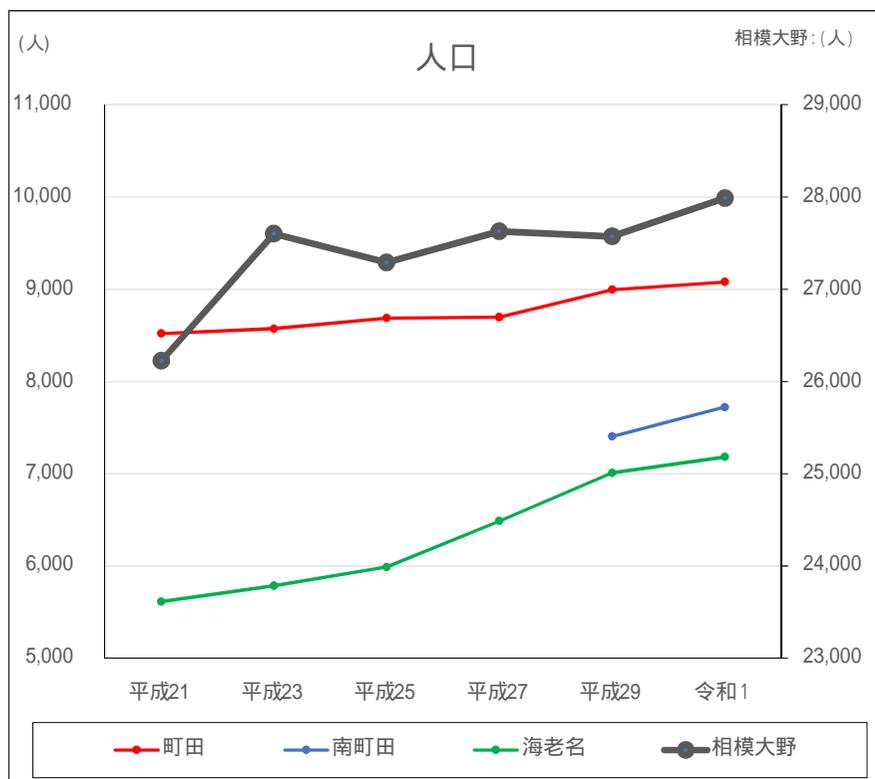
ユニコムプラザ	29
---------	----

相模大野駅周辺地区の現状

1 . 相模大野周辺地区の人口、産業に関する動向

人口・世帯数の推移

- ・ 相模大野駅周辺は概ね増加傾向で推移している。
- ・ 町田駅周辺は横ばいから微増傾向、海老名駅周辺は近年の商業開発なども受け人口が大きく増加。



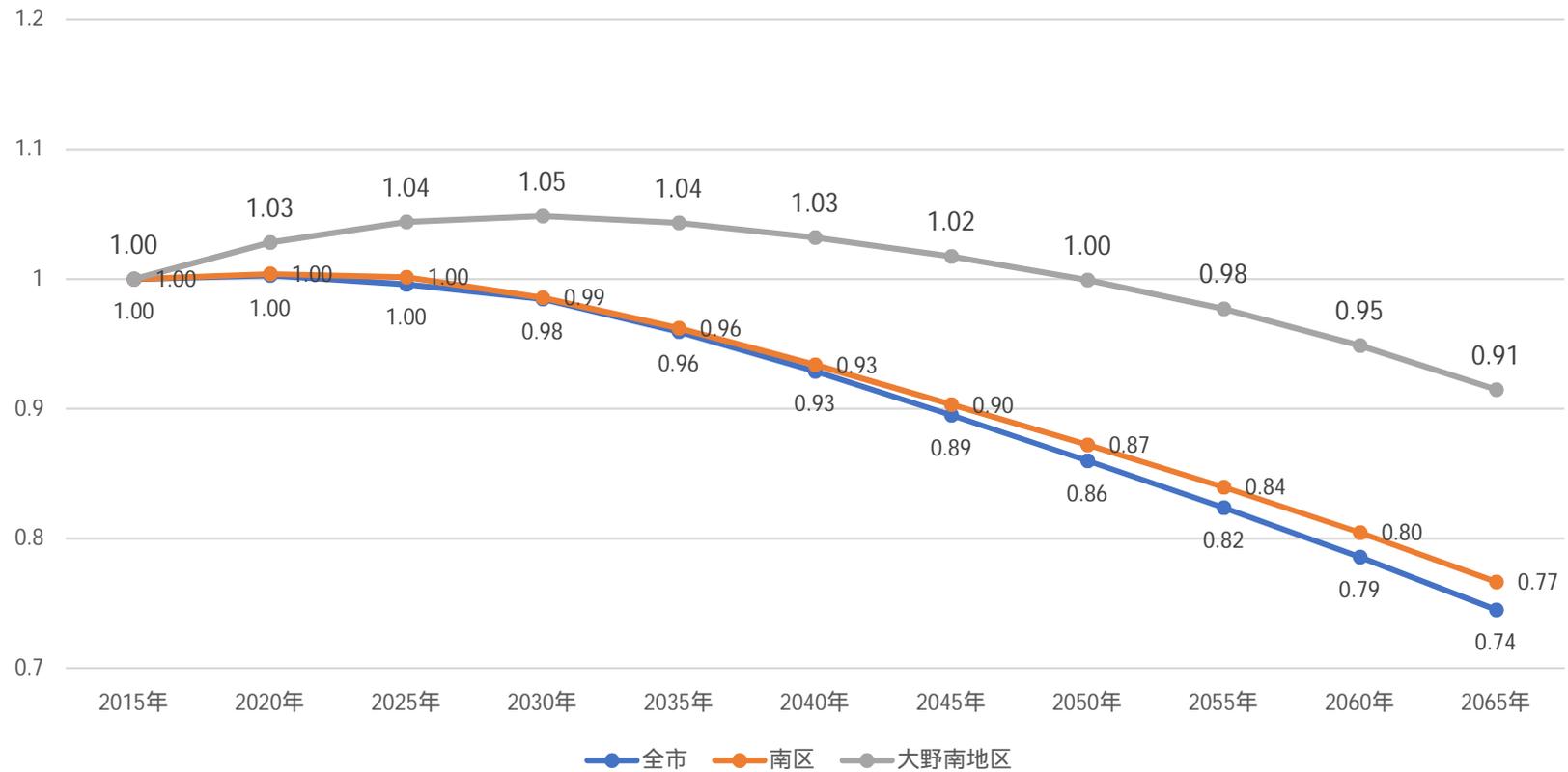
出典：各市住民基本台帳

相模大野駅周辺地区の現状

人口推計（全市・南区・大野南地区）

- ・市全体・南区では減少傾向となっているが、大野南地区では2030年までは増加する見込み。

人口比の比較（2015年基準）



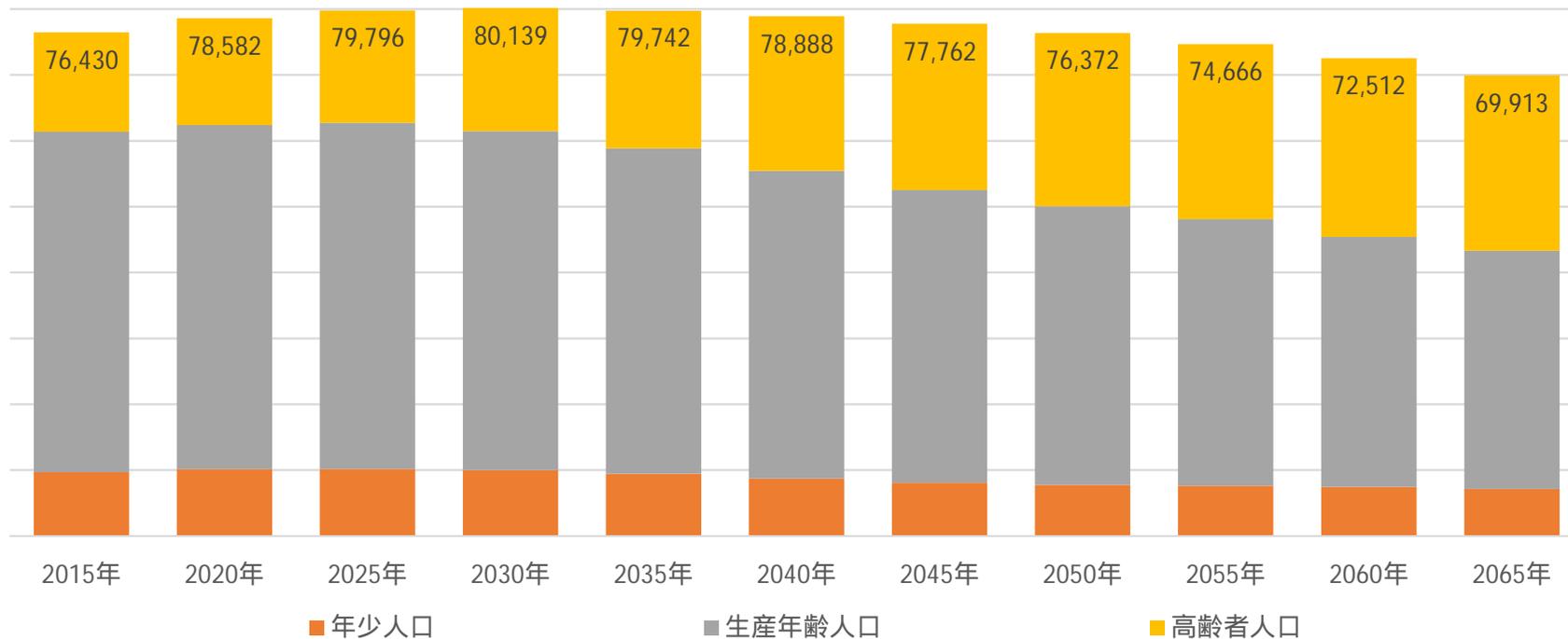
相模大野駅周辺地区の現状

大野南地区の人口推計

- 大野南地区の人口は2030年までは増加するが、その後は減少する見込み。
- 内訳では、年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）の割合は減少する一方、高齢者人口（65歳～）の人口と割合は年々増加傾向。



大野南地区の人口推計

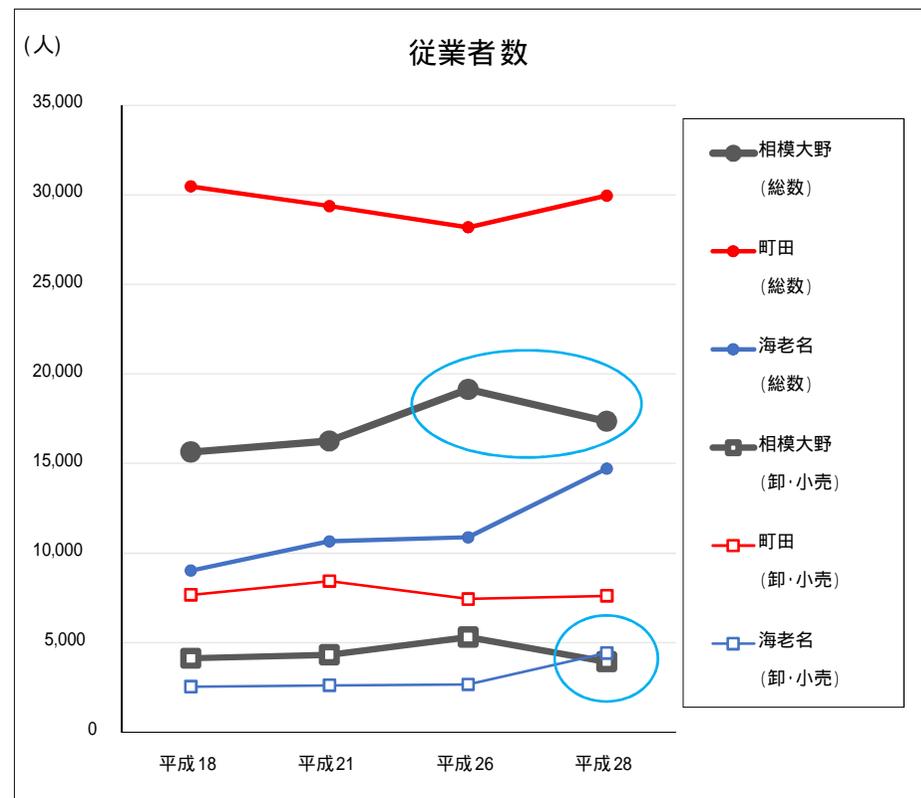
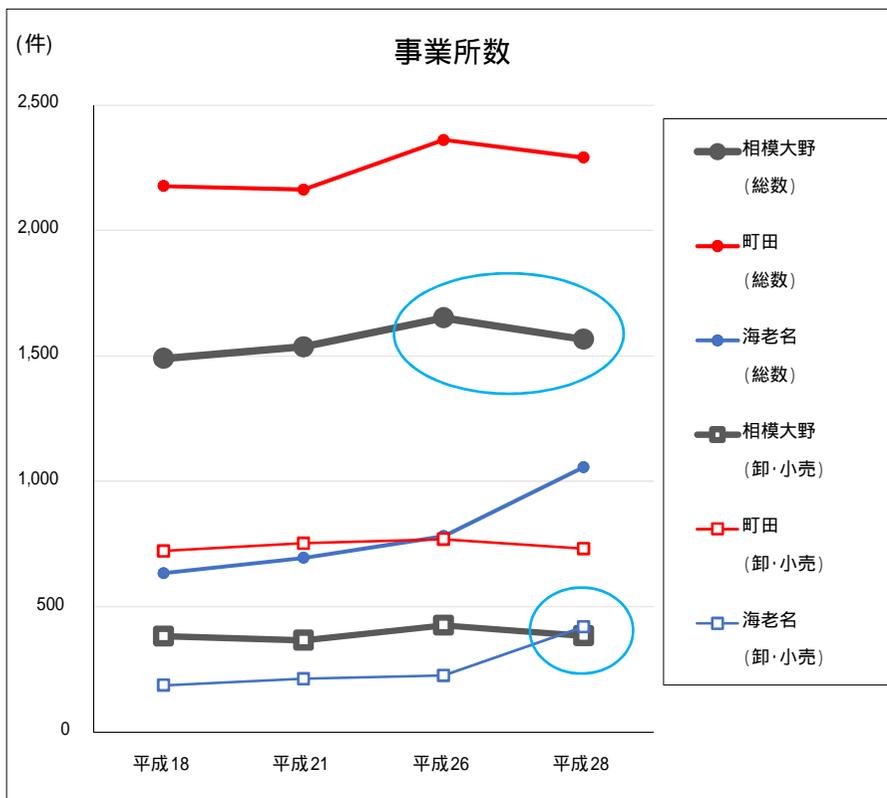


出典：相模原市

相模大野駅周辺地区の現状

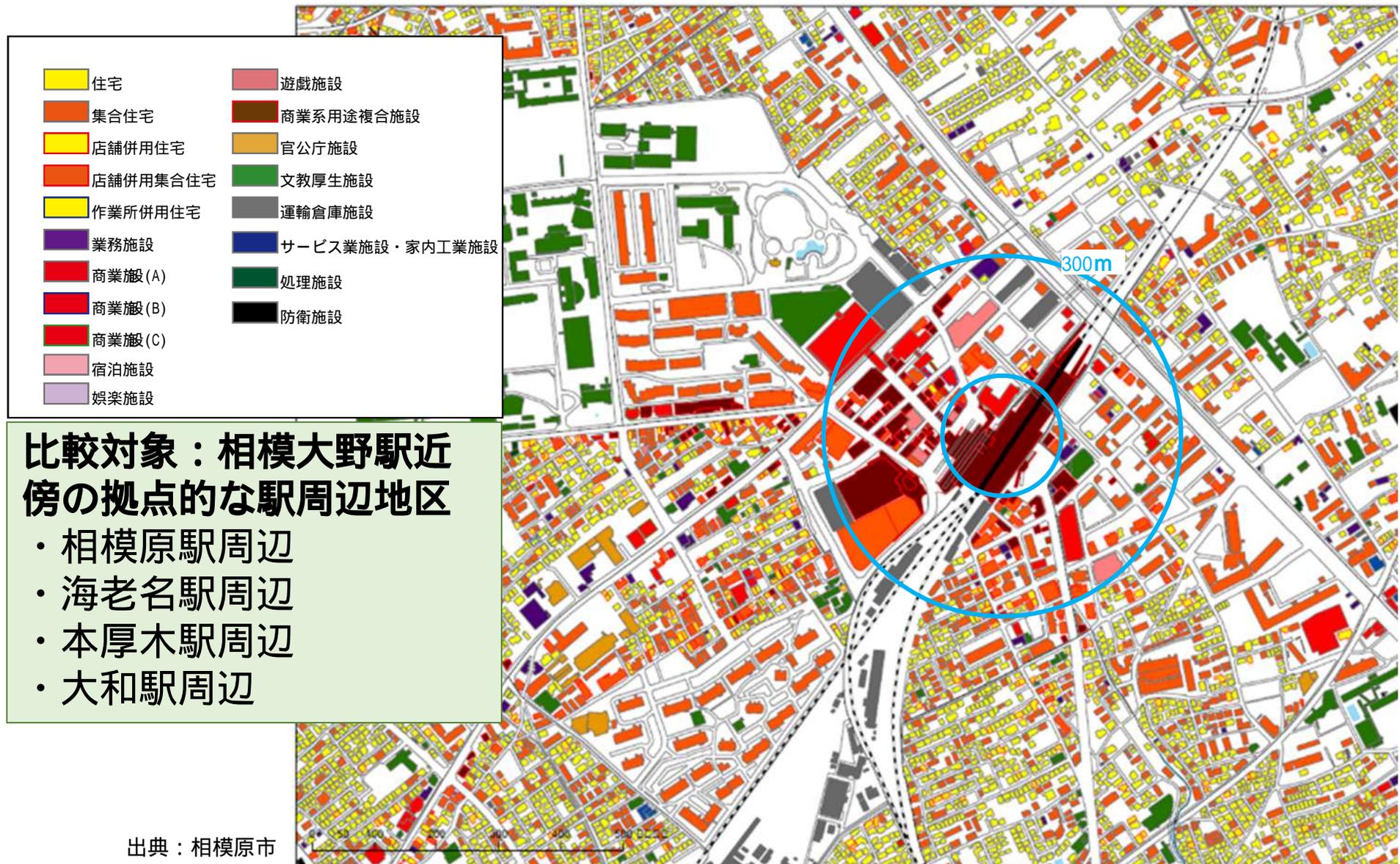
事業所・従業者数の推移

- ・ 相模大野駅周辺は近年、**事業所・従業者数とも減少**（令和元年に伊勢丹が閉店する前）。
- ・ 町田も近年、**小売業などが減少**。海老名駅周辺は事業所、従業者数とも大きく増加し、卸・小売業に関しては相模大野を逆転。



相模大野駅周辺地区の現状

2. 土地・建物に関する動向

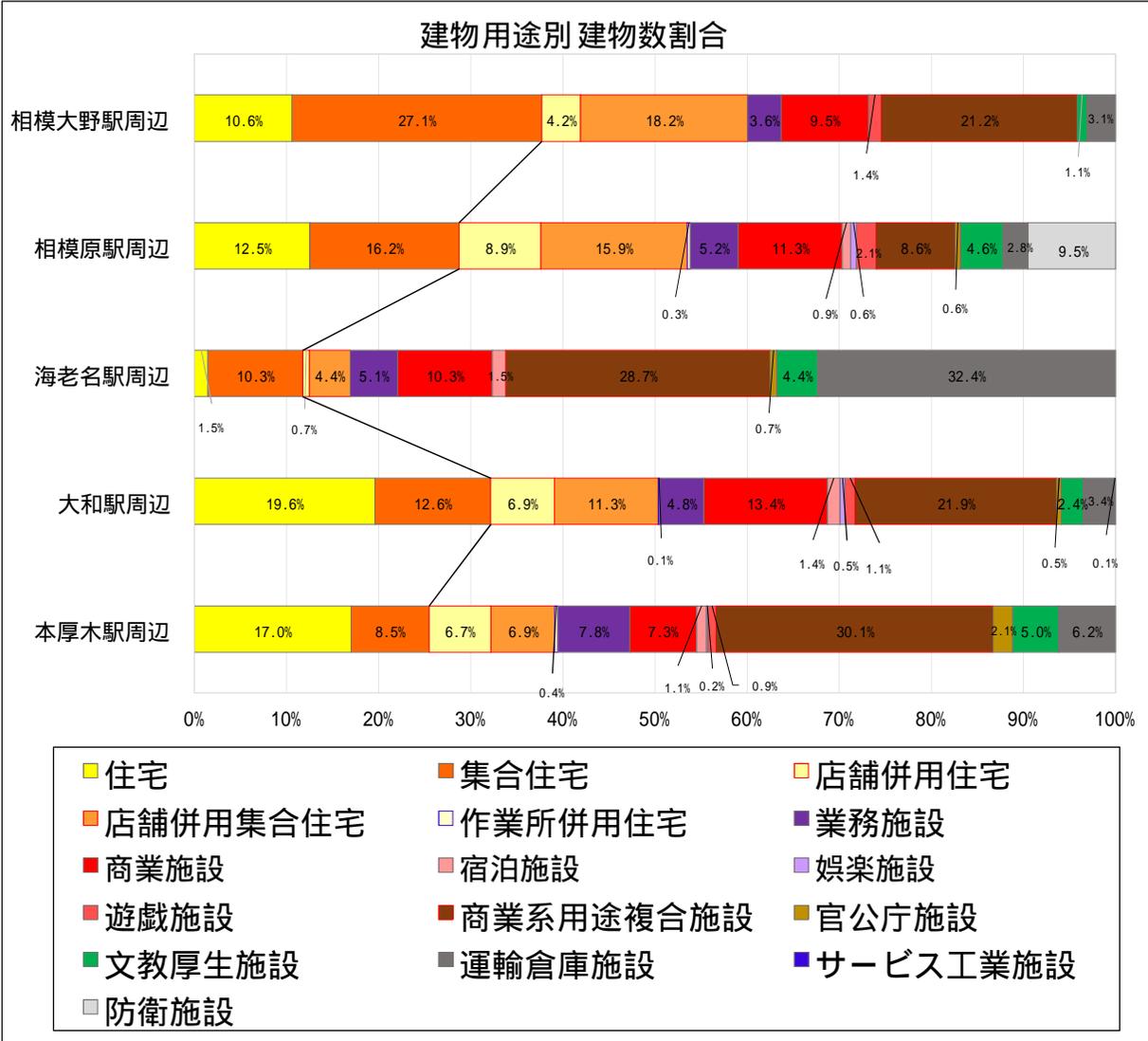


相模大野駅周辺地区の現状

駅300m圏における施設立地の特徴 (建物用途、神奈川県内)

相模大野駅周辺は、戸建・集合住宅で約4割、商業系施設が約5割となっている(併用住宅込み)

○相模大野駅周辺の特徴として、他の駅周辺と比べると、住宅の割合が高い。



出典：相模原市

相模大野駅周辺地区の現状

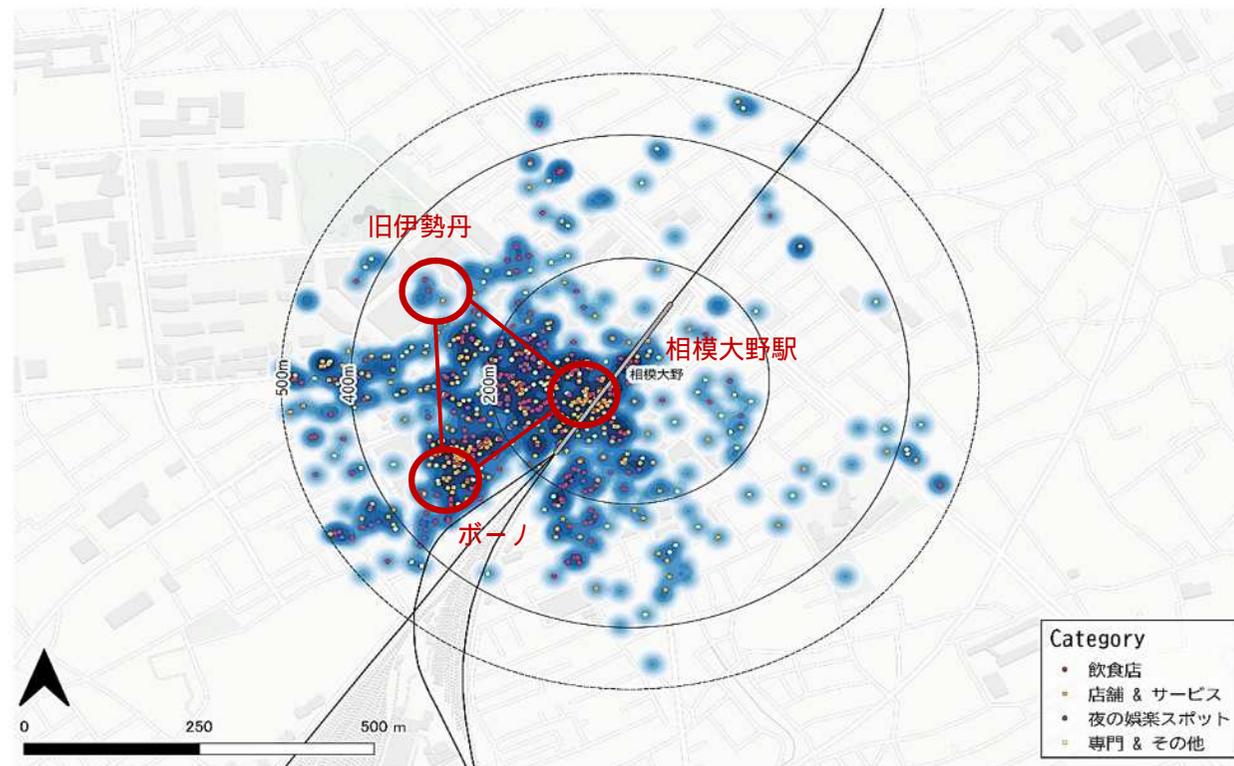
3 . 相模大野駅等のPOIの分布状況

POI(Point of Interest) :

- ・ 地図上の任意の地点、目標地、店舗、施設、ランドマークなどのこと

POIの分布・集積状況（ヒートマップ）【令和2年度調査】

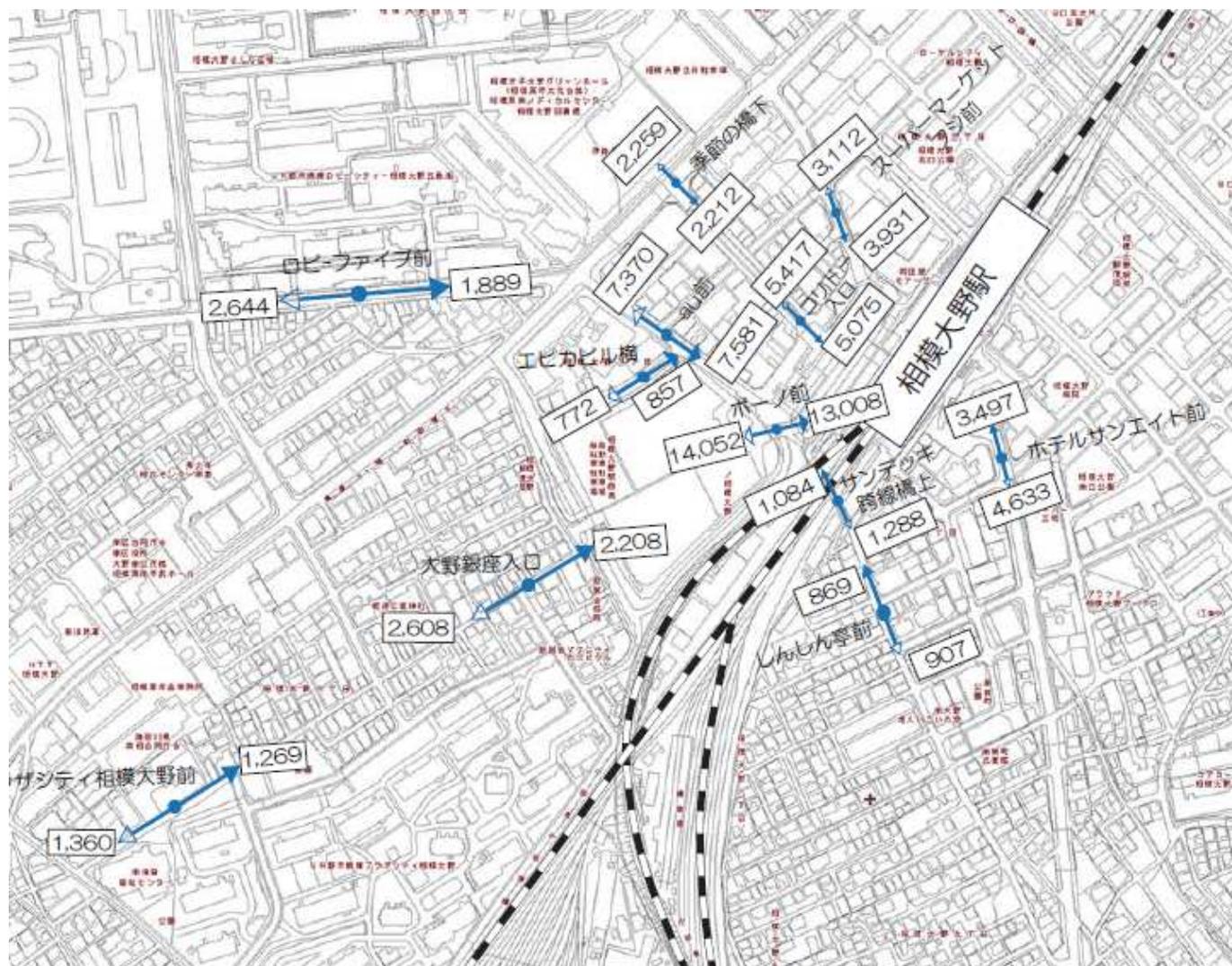
- ・ 色が濃く表示されている箇所に人が立ち寄る施設が集積している。
「三核構造」の3つの核のうち、旧伊勢丹閉店後の「商業・文化の核」にはスポット（POI）が少ない状況である。



相模大野駅周辺地区の現状

4 . 歩行者交通量調査 (令和2年度相模原市商業実態調査報告書 ~ 通行量調査 ~)

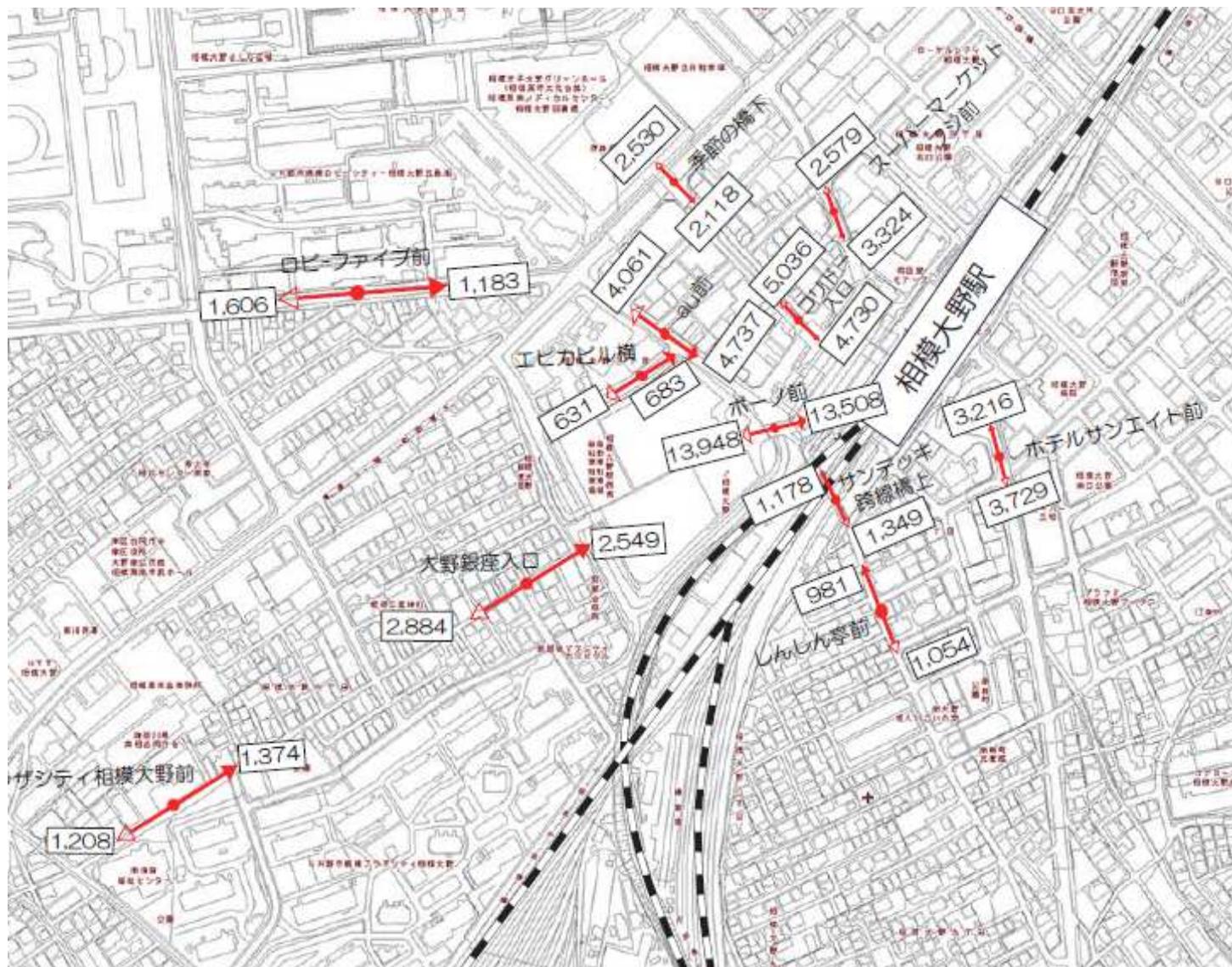
調査地点と交通量 (平日10 ~ 20時) 凡例 : 歩行者数 (人)



相模大野駅周辺地区の現状

調査地点と交通量（休日10～20時）

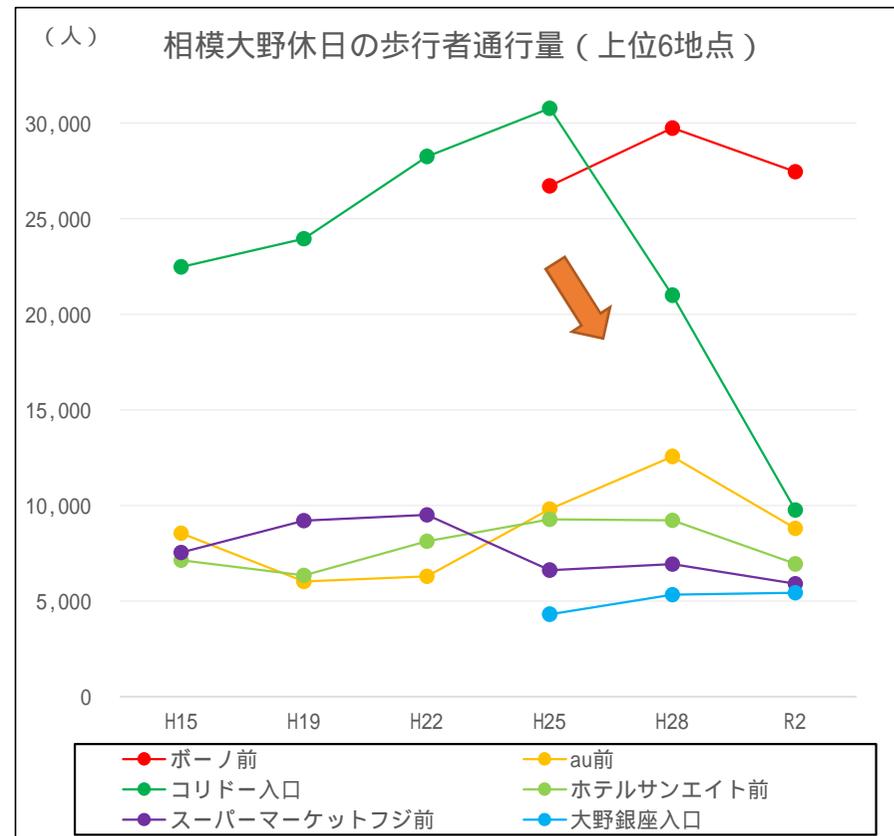
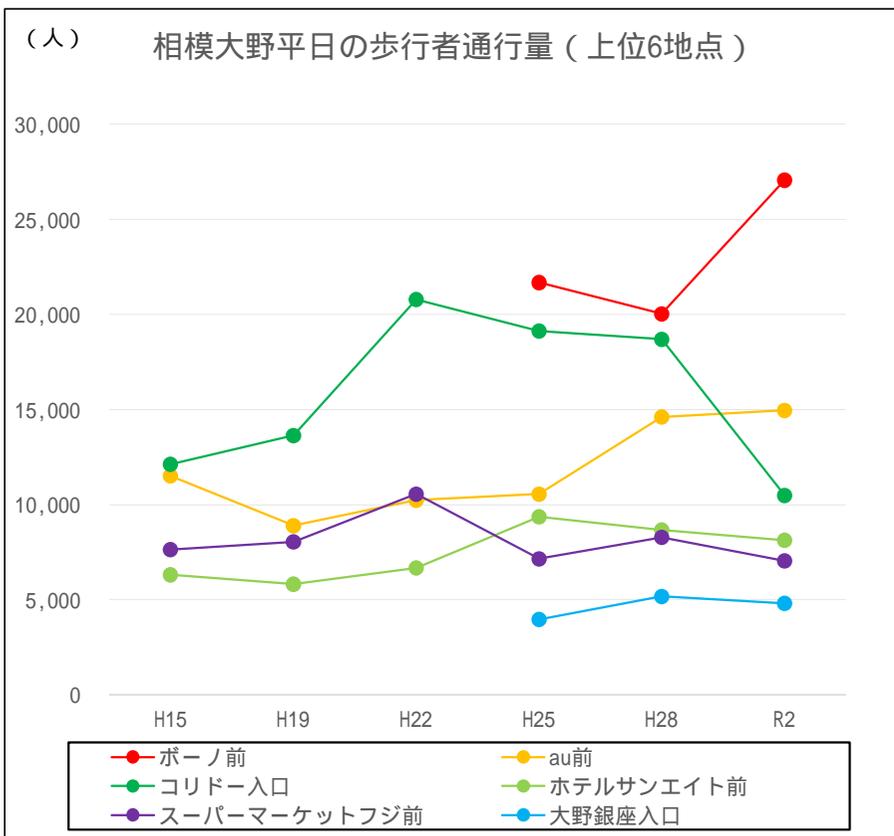
凡例： 歩行者数（人）



相模大野駅周辺地区の現状

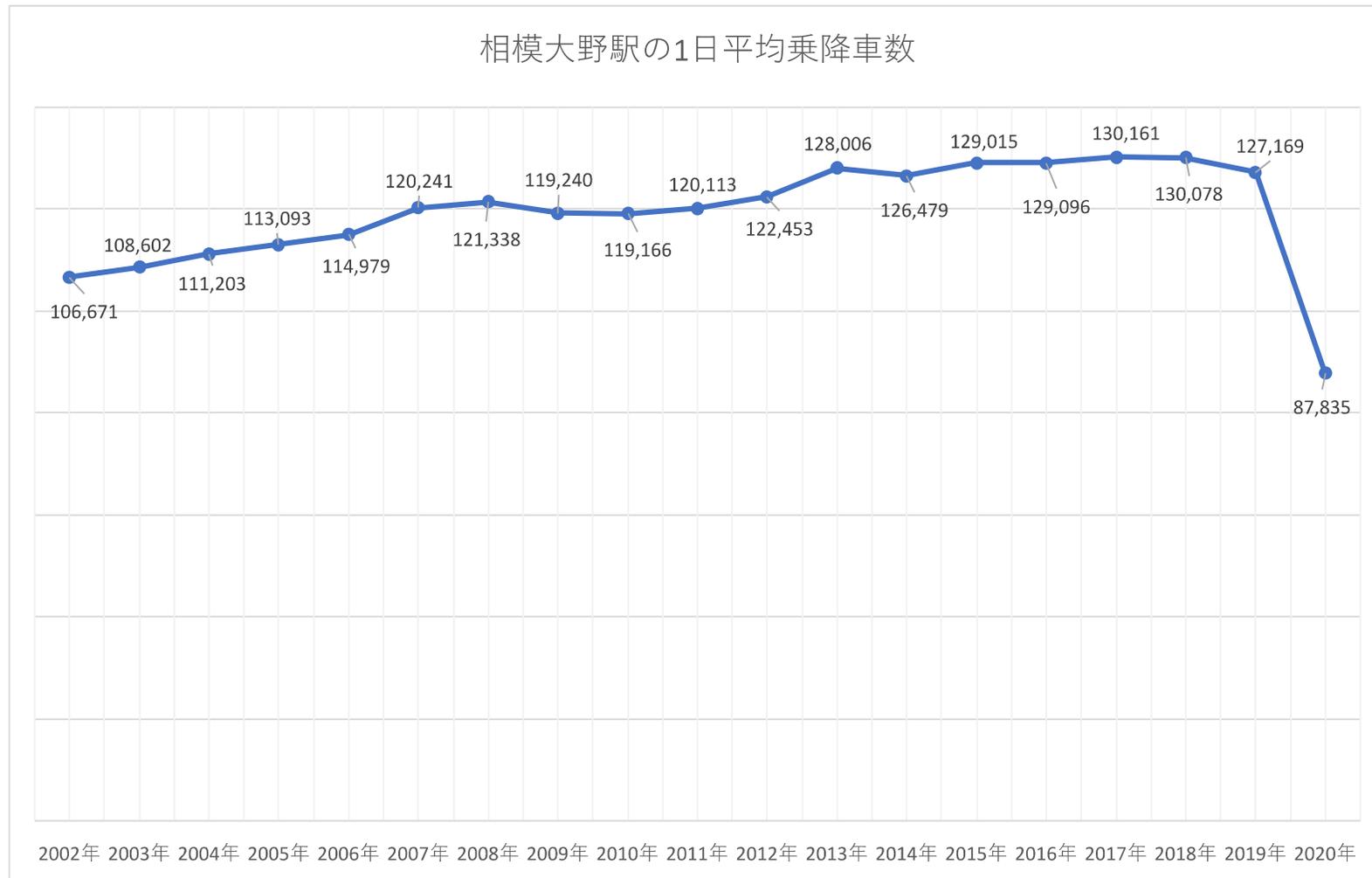
箇所別時間帯別交通量の経年変化（平日、休日）

- ・ ボーノ開業（平成25年）および伊勢丹閉店（令和元年）により周辺の交通に変化が生じている。
- ・ コリドー街の歩行者数は、平日は平成28年に比べて令和2年は半減。休日は、平成25年の約3万人をピークに平成28年には約2万、令和2年には約1万人と、7年間で1/3に減少している。



5 . 相模大野駅の乗降客数

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響等から、2019年から2020年にかけて乗降者数が激減

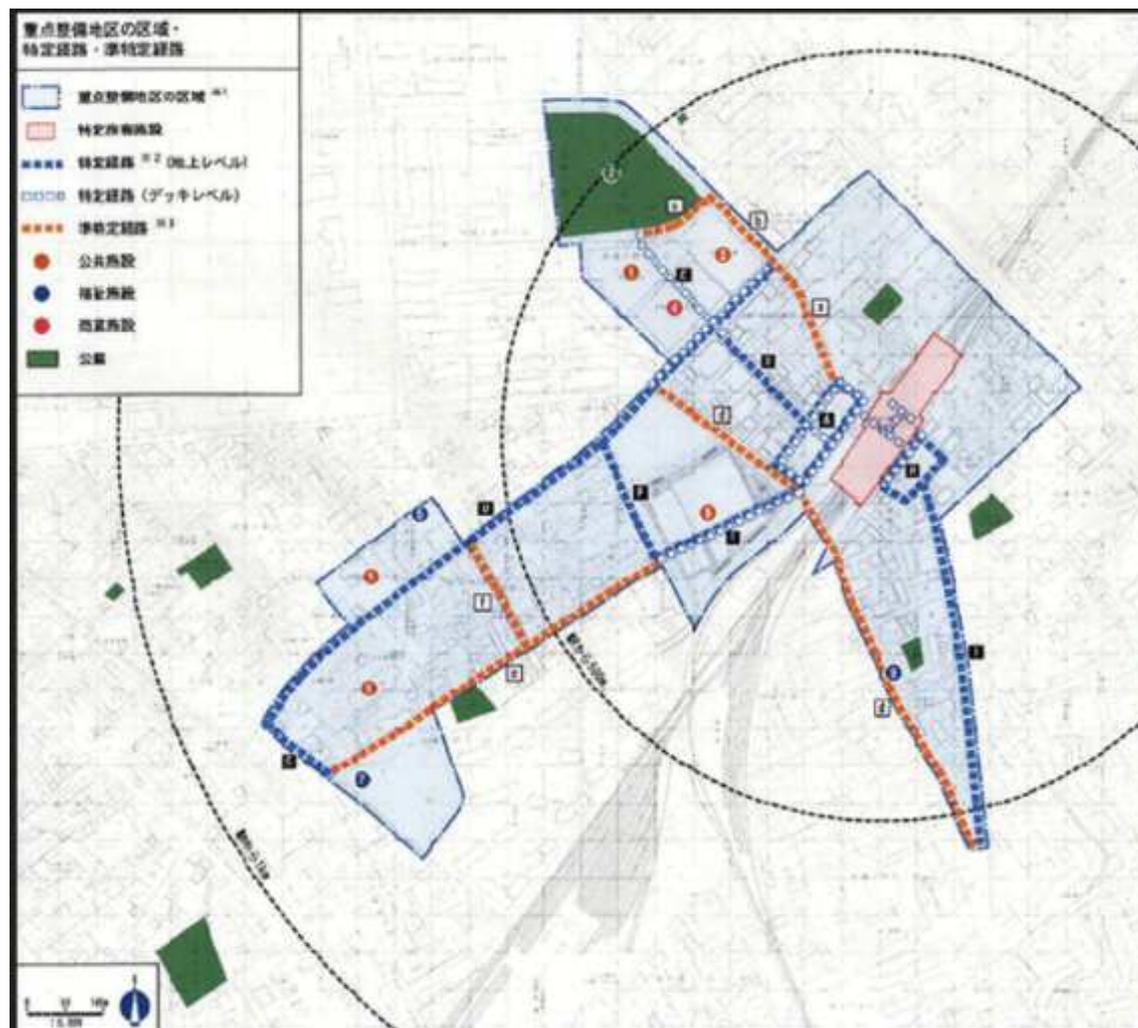


6 . 相模大野駅周辺のバリアフリーの状況

相模大野駅周辺は、相模原市交通バリアフリー基本構想の重点整備地区となっている。

相模大野駅周辺において、徒歩による移動に利用される経路のうち、高齢者、身体障害者等の円滑な移動のために確保されるべき経路（特定経路）は以下のとおり。

- A. 北口駅前広場
- B. 市道相模大野駅前通（コリドー街）
- C. 伊勢丹及びグリーンホール内自由通路
- D. 県道51号（町田厚木）
- E. 市道相模大野駅前
（西側地区市街地再開発事業区域内自由通路）
- F. (都)相模大野西通り線
- G. 市道谷口台東林間
- H. 南口駅前広場
- I. 市道相模大野

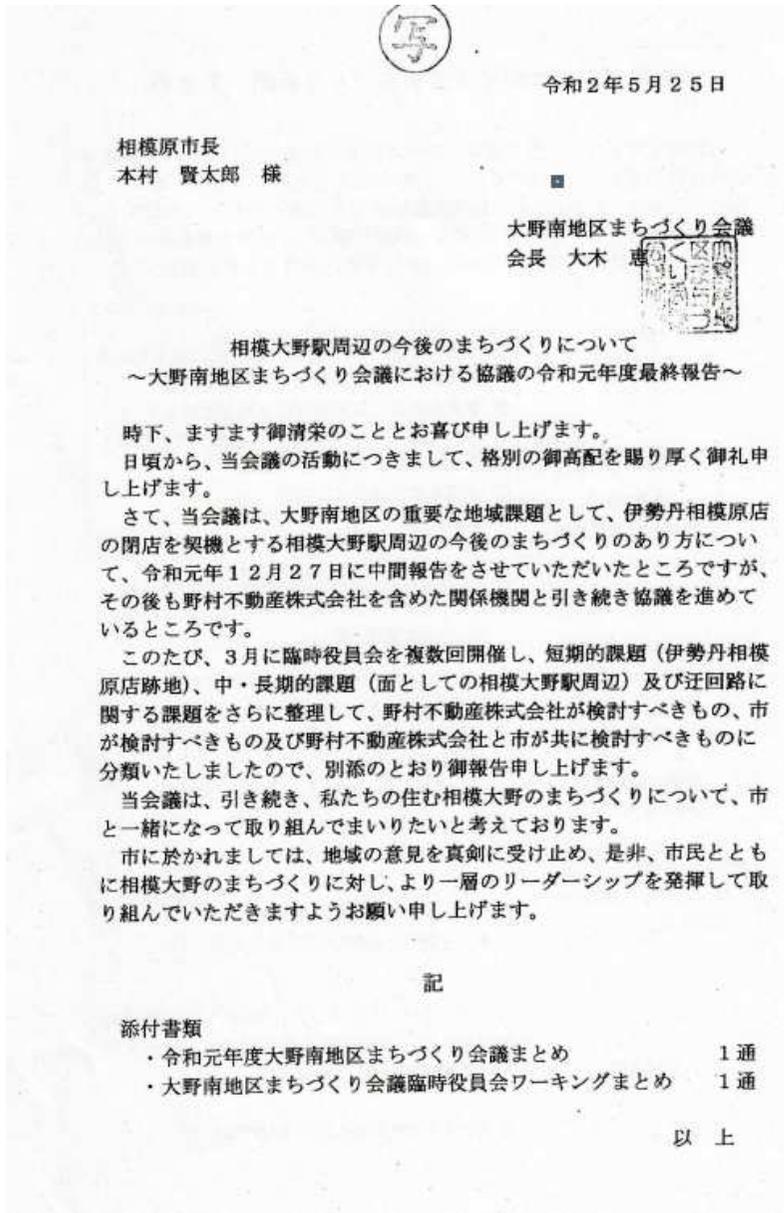


地域住民の意向

1. 大野南地区まちづくり会議の報告

令和2年5月25日
 相模大野駅周辺の今後のまちづくりについて、大野南地区まちづくり会議から、以下のとおり報告書の提出がありました。

短期的課題 ○伊勢丹相模原店跡地に必要な機能について	グリーンホールや相模大野中央公園を訪れる人々が、余韻を楽しめる施設 百貨店のような大規模商業施設ではなく、ステーションスクエアやポーノ相模大野と競合しないバランスの良い商業施設 周辺大学と連携した施設 行政機能
中・長期的課題 ○相模大野駅周辺の面的なまちづくりについて	相模大野駅周辺のにぎわいを創出するため、以下の施設の活用を検討するとともに、三核構造の回遊性を確保する。 ア：相模大野中央公園 イ：相模大野立体駐車場 ウ：コリドー街 等
迂回路	コリドー街からグリーンホール等へ続く動線の確保のため、デッキ等を先行整備し、市民生活への影響を最小限に抑える。



以上

2. 市民等へのアンケート

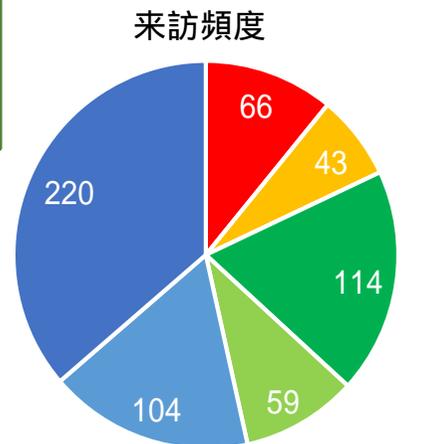
アンケートの目的

「大野南地区まちづくり会議」での議論などを踏まえ、伊勢丹相模原店跡地を含む相模大野駅周辺のまちづくりについて、多くの市民からの意見を集約することを目的に実施

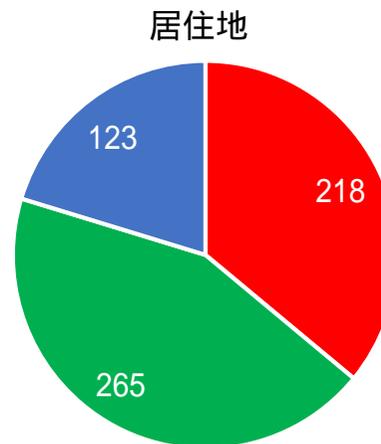
実施方法

- ・対象者：相模原市、県内他市町及び町田市在住で、過去1年間に1回以上相模大野を訪れた人
- ・実施期間：令和2年7月8日～10日

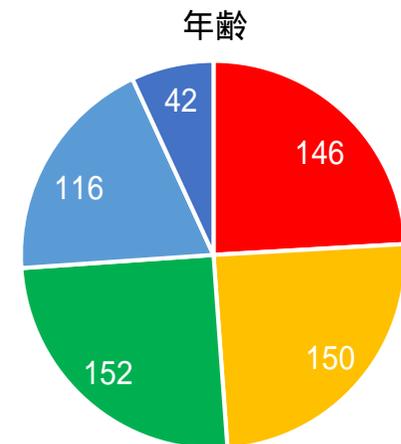
回答者数：
606名



■ 週4～5回
■ 週2～3回
■ 月数回
■ 月1回
■ 2～3ヶ月に1回
■ ほとんど訪れない



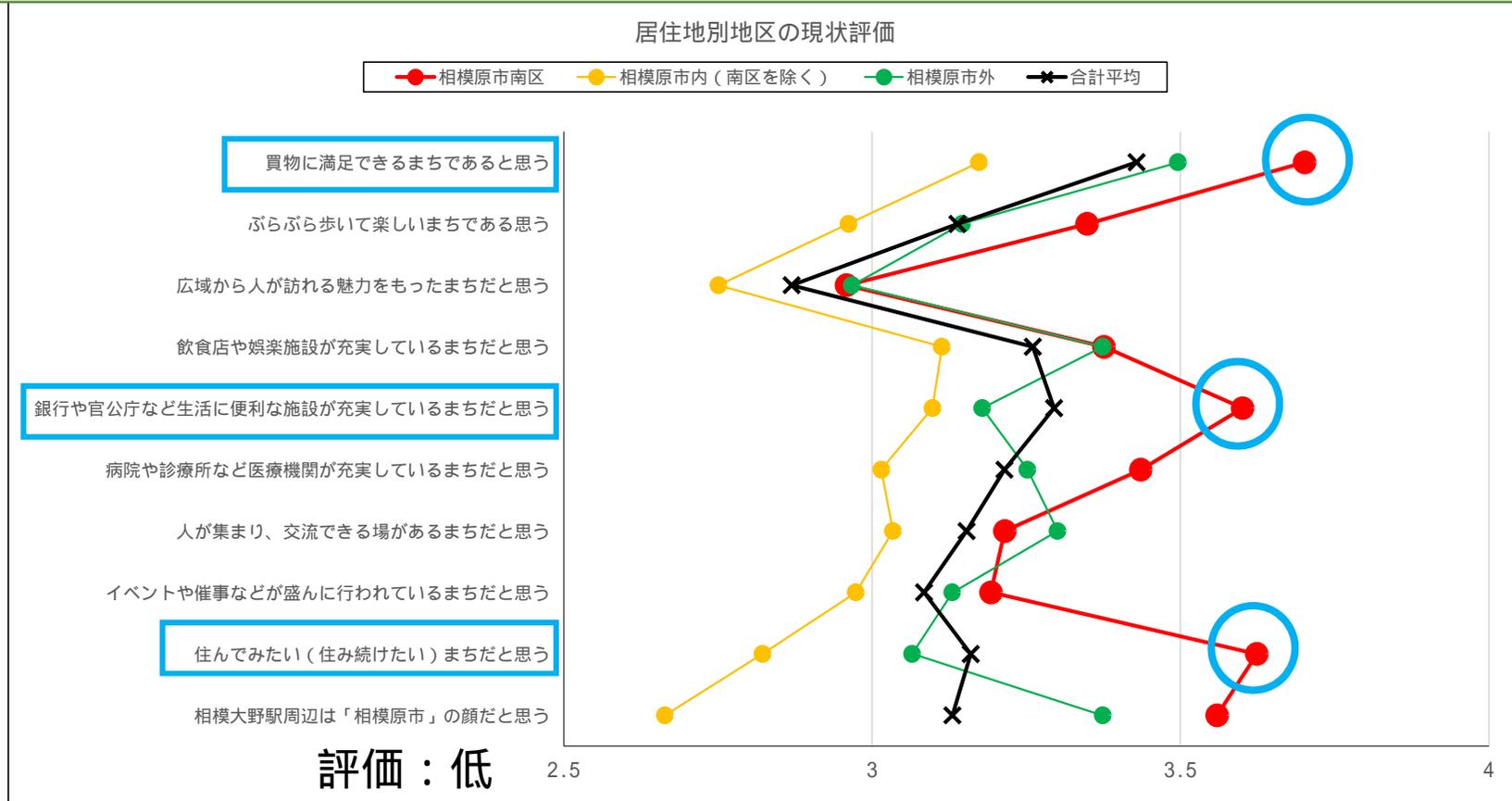
■ 相模原市南区
■ 相模原市内（南区を除く）
■ 相模原市外



■ 10～20代
■ 30代
■ 40代
■ 50代
■ 60代以上

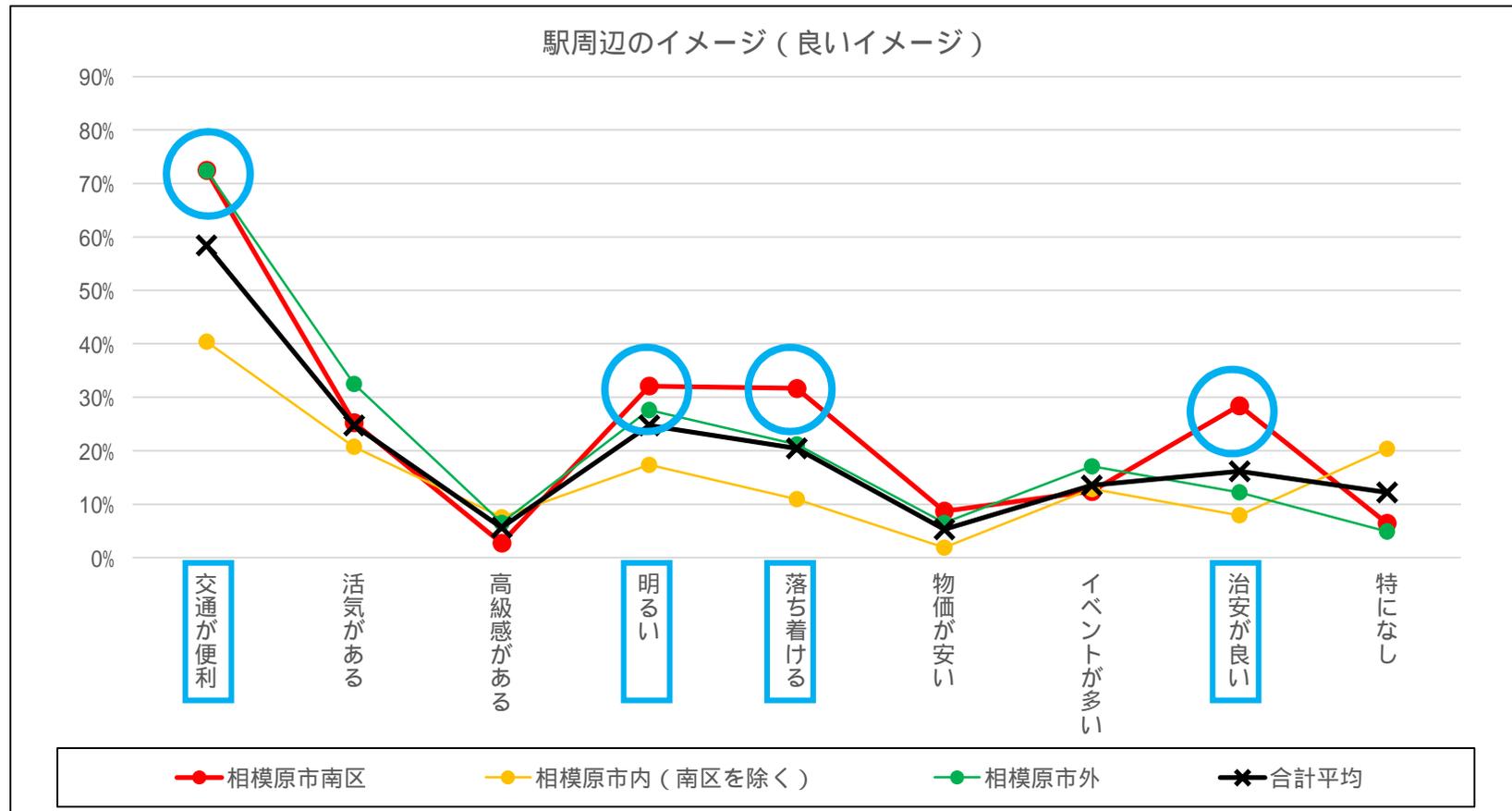
駅周辺の現状評価（居住地別）

- ・ 総じて、南区居住者からは高い評価を得ている。
特に「買い物に満足できる」、「生活に便利な施設が充実している」、「住み続けたい」等の評価が高い。
- ・ 区外・市外居住者からは、「利便施設」や「住んでみたい」、「市の顔」などへの評価が低い。



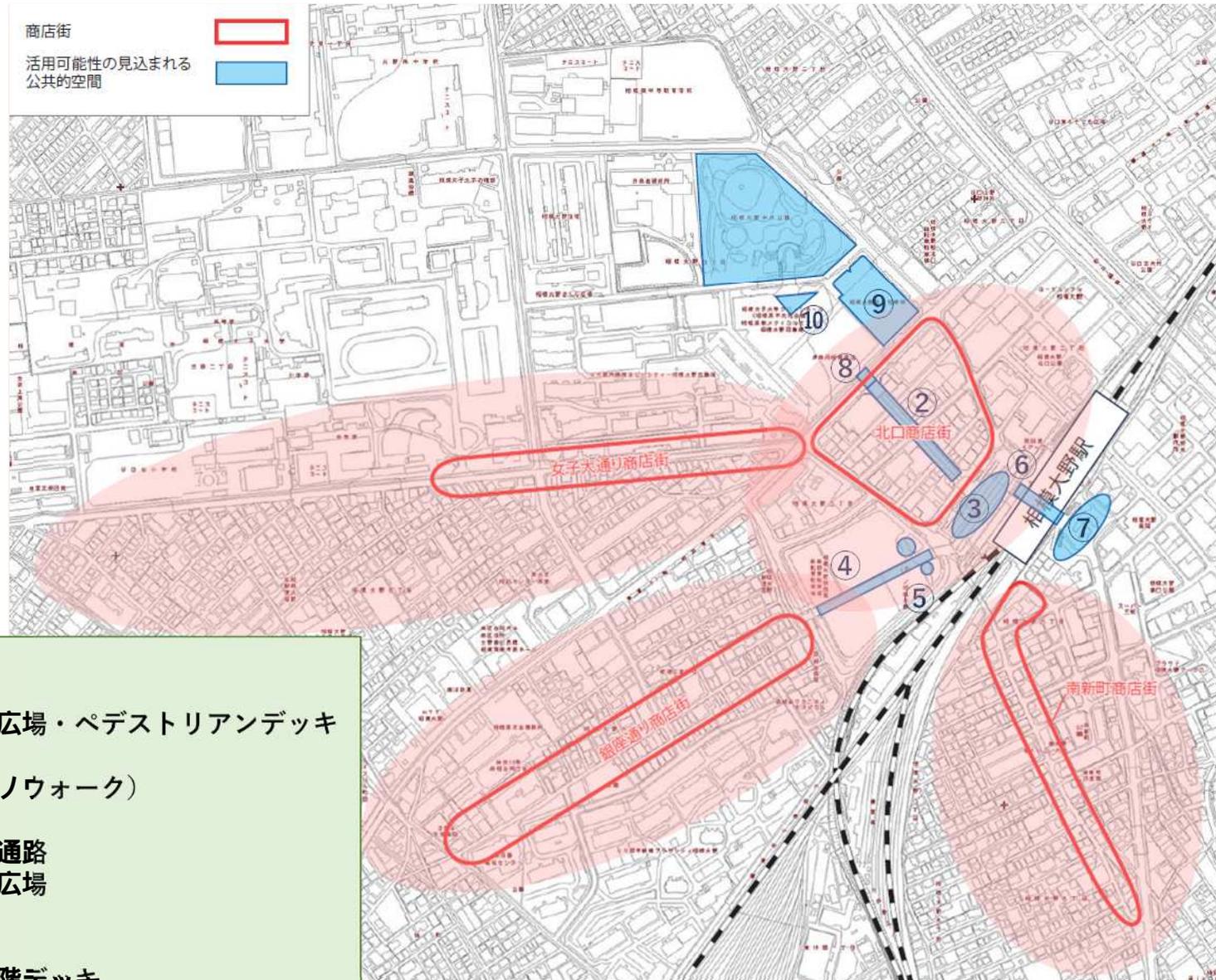
駅周辺のイメージ（居住地別）

南区居住者は、「交通が便利」「明るい」「落ち着ける」「治安が良い」といったイメージを持っている人が多い。



相模大野駅周辺の公共的空間

1. 既存の公共的空間



相模大野中央公園

面積約2.7haの都市公園法に基づく都市公園である。2017年に園内の遊具等がリニューアルされている。

《活用状況》

○イベント等の実施

- ・相模大野もんじえ祭り

開放的な雰囲気の中で音楽と飲食を楽しんでもらい、相模大野をアピールするイベントで2日間で10万人以上が来訪する。

- ・さがみおおのハロウィンフェスティバル

○日常的にはこどもが遊具で遊ぶ、ジョギングなどの利用が多い。



コリドー街

幅員16mの道路で、歩道部分にアーケードがかかり、傘を差さず往来できる。コリドー街を含む北口商店街は、令和2年度時点で約150店舗が加盟、1/3の約50店が飲食・サービスであり、金融や製造系などの施設も約70件立地している。

《活用状況》

○イベント等実施

- ・アートクラフト春の市、秋の市（フリーマーケット）
- ・さがみおおのハロウィンフェスティバル
- ・コリドー市場
（おさんぽマルシェ、女性作家によるハンドメイド展）
- ・相模大野もんじえ祭り
- ・プレもんじえ

○コロナ禍の道路占用許可緩和を活用し、一部店舗ではテラス営業を実施。



相模大野駅北口駅前広場・ペデストリアンデッキ

地上部の駅前広場はバスやタクシーなどの交通広場機能となっており、2階のペデストリアンデッキは駅前の3つの通り（コリドー街、パークサイド、キャンパス）他、ポーノ相模大野などにアクセス可能である。

《活用状況》

イベント等実施

- ・アートクラフト（フリーマーケット）
- ・相模大野で「福は内」
- ・相模大野カレーフェスティバル
- ・ちょい呑みフェスティバル
- ・さがみおおのハロウィンフェスティバル



相模大野駅西側地区東西自由通路（ポーノウォーク）

ポーノウォークは1階、2階に整備されており（ペデストリアンデッキとは2階で接続）、2階部分には3層分の高さの大屋根が架けられ、天候に左右されず通行することが可能である。

《活用状況》

○イベント等実施

- ・アートクラフト（フリーマーケット）
- ・大野南ふるさとまつり、相模大野ふるさとまつり
- ・さがみおおのハロウィンフェスティバル
- ・福祉バザー
- ・ポーノの夏祭り



防災イベントの様子



フリーマーケットの様子

ポーノ広場

市街地再開発事業により整備された広場である。2階のデッキからの視認性は高く、イベント時などデッキから眺めたり写真を撮ったりする人も多く見られる。

《活用状況》

イベント等実施

- ・大野南ふるさとまつり、相模大野ふるさとまつり
- ・さがみおおのハロウィンフェスティバル
- ・相模大野もんじえ祭り
- ・アートクラフト春の市・秋の市
- ・ポーノの夏祭り
- ・交通安全キャンペーン
- ・クリスマス
ゴスペルライブ



相模大野駅南北自由通路

駅ビル「ステーションスクエア」の3階部分に配置されている、5層分の吹抜のアトリウム空間である。駅利用者やステーションスクエア利用者により、日常的に人の往来が非常に多い。

《活用状況》

○イベント等実施

- ・相模大野で「福は内」
- ・ステーションピアノ事業
- ・その他、行政主催のイベント、インストアライブや演奏会、展示会なども開催されている。



相模大野駅南口駅前広場

南口は、バスやタクシーの停留所の他、乗用車が一時的に止まれるスペースがある。駅からエスカレータを降りた先に広場がある。

《活用状況》

イベント等実施

- ・相模大野で「福は内」
- ・さんま祭り
- ・鶴の恩返し（太鼓や神輿の競演イベント）



相模大野で「福は内」の様子



さんま祭りの様子



鶴の恩返しの様子

季節の橋

県道51号（並木通り）に架かる橋。橋上にはベンチが設置されていることで、休憩スペースとしての活用や、集える場所にもなっている。（伊勢丹閉店前）

《活用状況》

現在通行止めとなっており、日常的な利用はない。

イベント等実施

- ・アートクラフト春の市・秋の市



季節の橋
伊勢丹相模原店閉店前に撮影

相模大野立体駐車場

1階部分にバス・タクシー乗り場のある市営の駐車場。収容台数は自動車794台、バイク62台。現在は、利用率に合わせ、地下1階、5階、屋上は閉鎖しており、利活用について検討をしている。

《活用状況》
道路法や都市計画法等の規制があるため、駐車場用途以外の日常的な活用はない。



3. 利用の状況



相模原市文化会館（相模女子大学グリーンホール）2階デッキ

グリーンホール入口から中央公園までをつなぎ、グリーンホール敷地内に併設されている図書館やメディカルセンターにもアクセスできるデッキである。伊勢丹相模原店が閉店した現在は通り抜けできなくなっている。

《活用状況》
現在通行止めとなっており、日常的な活用はない。



グリーンホール入口



通路部分

相模大野駅周辺の公共的空間

2. 将来的に活用できる公共的空間

(仮称) 相模大野4丁目計画地広場

伊勢丹相模原店跡地においては、野村不動産株式会社の(仮称)相模大野4丁目計画が2025年に竣工予定。マンションの1階、2階の一部は、商業・地域貢献施設となる予定であり、2階の歩行者用通路(公共歩廊)が開通し、広場が設置されることにより、公共歩廊は中央公園から駅までをつなぐ主軸になり、広場が将来的に活用できる空間となる。



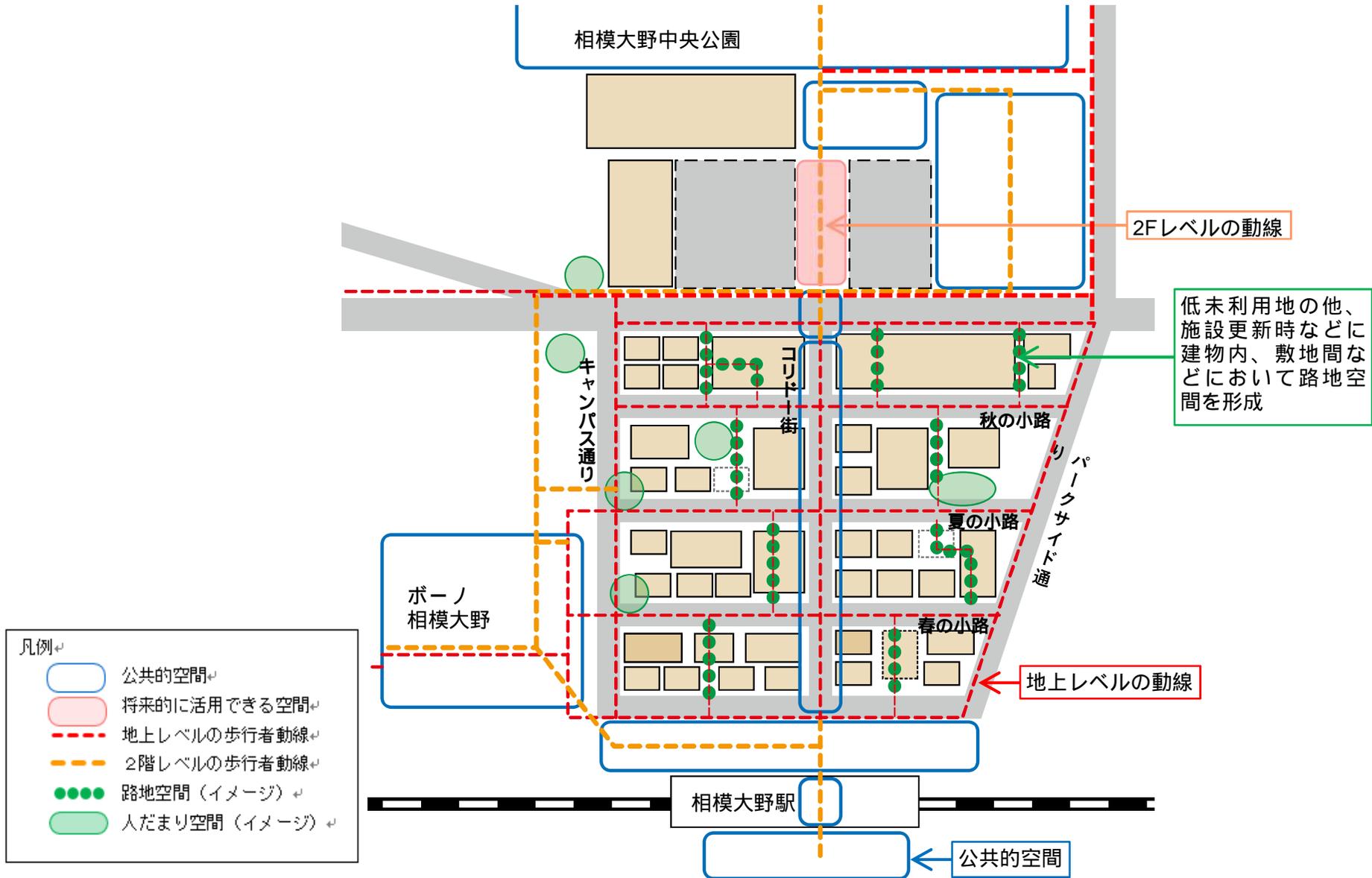
公共歩廊のイメージ図



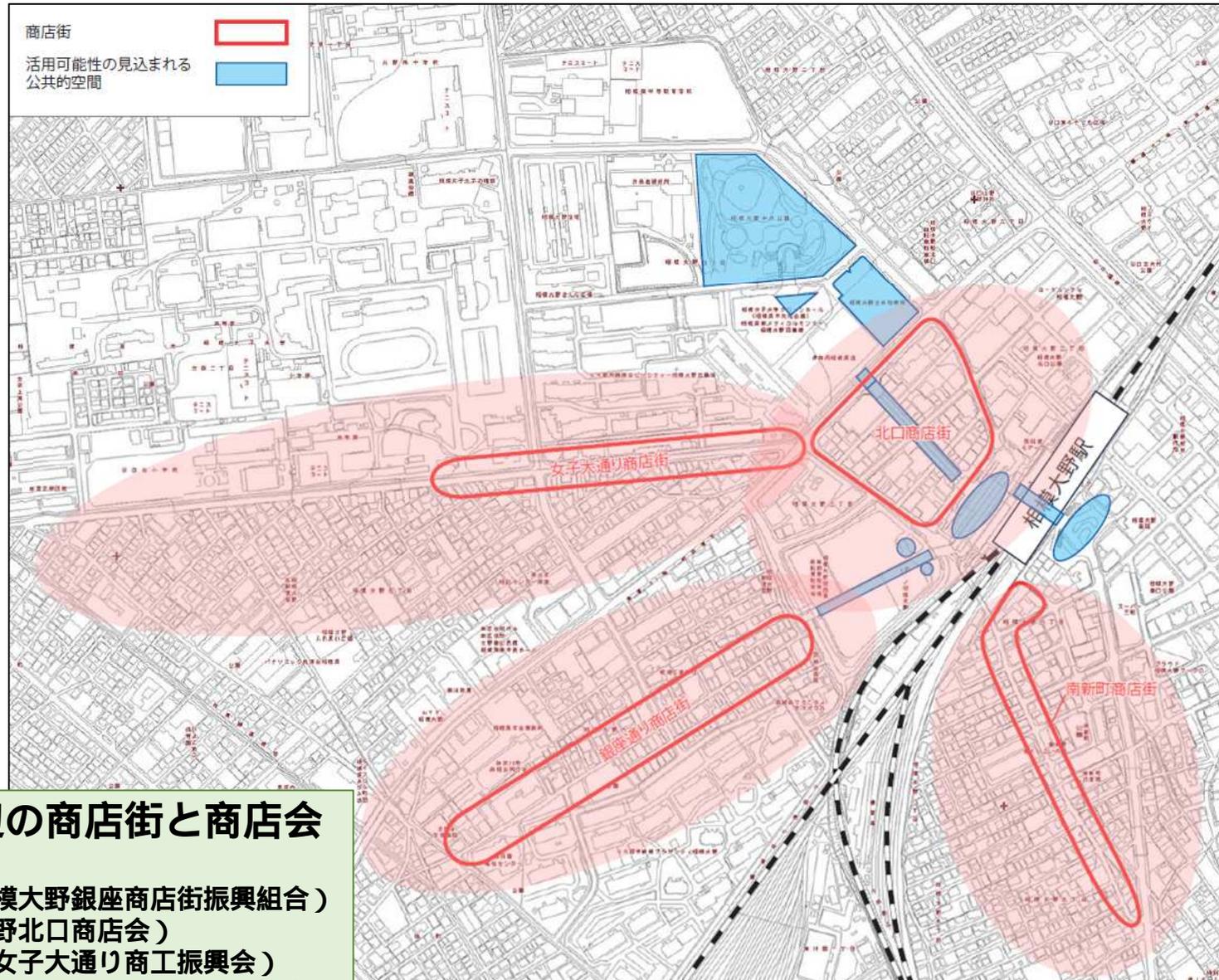
広場イメージパース

相模大野駅周辺の公共的空間

3. 相模大野駅周辺におけるネットワーク形成のイメージ



1. 4つの商店街と商店会



相模大野駅周辺の商店街と商店会

- 銀座通り商店街（相模大野銀座商店街振興組合）
- 北口商店街（相模大野北口商店会）
- 女子大通り商店街（女子大通り商工振興会）
- 南新町商店街（相模大野南新町商店街振興組合）

相模大野駅周辺の商店街

2. 4つの商店会の概要（令和2年度）

名 称	設立年	会員数 (人)	業種構成（店）				
			買回り	飲食・ サービス	最寄り	業務用品 (建材、畳 等)	その他 (卸売・金 融、製造 等)
相模大野銀座 商店街振興組合	昭和38 (昭和61)	70	13	44	7	0	6
相模大野 北口商店会	昭和25	149	15	52	4	10	68
女子大通り 商工振興会	昭和37	38	2	20	10	2	4
相模大野南新町 商店街振興組合	昭和39 (昭和62)	50	3	27	2	0	18
4商店会合計		307	33	143	23	12	96

() については、法人化した年。
会員数には、賛助会員、特別会員等を含む。

市民・大学等との連携

ユニコムプラザさがみはら

相模原市立 市民・大学交流センター

ユニコムプラザ
さがみはら

「大学との連携で新たな地域活動と市民活動の創造を」
ユニコムとは英語の大学（University）と
地域社会・共同体（Community）のUni（ユニ）Com（コム）をつなげた造語です。
地域活動や市民活動を行う市民と高度な専門性や豊富な人材を有する大学が
連携して、福祉、健康、環境等、新しい地域活動や市民活動を想像する地域と
大学の連携を推進する施設です。（平成25年3月15日～）

○年度別利用者・登録団体数の推移

年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
利用者数	196,799	191,722	176,240	38,090	-
登録団体数	24	30	37	40	42

- ・令和元年度は感染症拡大防止に伴う休所（R2. 3. 2～31）のため開所日数は328日。
- ・令和2年度は感染症拡大防止に伴う休所（R2. 4. 1～6. 18、R3. 1. 13～3. 21）のため開所日数は211日。
定員数制限や時短開設を実施。

○ユニコムプラザさがみはらの主な事業・イベントと参加者数

オーサースカフェ

開所以来200回以上開催し、延べ8300人以上が参加されている人気ミニセミナーです。医療や福祉、大学の地域貢献、美術・音楽等の芸術など「身近な話題」をテーマに開催しています。（毎月第2・4土曜日開催）

各回30~50名×年24回



市民・大学交流会

大学との連携を望む個人・団体と大学とが交流する場所としてのイベントです。「地域連携への考え方」、「大学の得意分野」、「協力を要請したい分野」などのテーマで開催しています。（年6回程度開催）

各回30~50名×年6回



さがみはら地域づくり大学

市民や団体が、協働の観点での地域活動や市民活動を促進するために役立つ知識や技術を体系的に学べる場として開催しています。ワークショップや見学などを取り入れ、協働に親しみやすくしています。（7~1月開講）

講座数：13~15講座 講座ごとの延べ受講者数：約120名



○ユニコムプラザさがみはらの主な事業・イベントと参加者数

まちづくりフェスタ

まちづくりをテーマとして市民と大学の協働事業の成果を発表し、成果の共有と、交流のネットワークの拡大を目的に開催しています。多くの方に楽しみながら知って、体感してもらおうイベントです。（毎年10月開催：R2・R3は感染防止対策のため展示形式で実施）

H30：45団体273名、来場者数約2,000名



まちづくりモデル事業

市民が大学と連携・協働し、地域の課題解決及び活性化を図るため、具体的なテーマに基づき定期的に活動する団体の事業を認定し支援しています。R3年度は、14団体を認定しています。（各団体が通年で開催）

月1回5～20人×12ヵ月×14団体



橋渡し・相談事業

市民と大学が連携を深め、課題を共有し、大学の専門性と人材を活用しながら、地域課題の解決や地域の活性化に取り組むための事業です。R2年度は、28件が完了しました。

年間相談件数：約150件 年間橋渡し件数：26～28件

